

復習シート 第三学年 国語



組	番号	名前

【展開を捉えて役割を意識しながら話し合う問題】

- 1 小山さんのクラスでは、「興味を持った話題を紹介しよう」というテーマで、スピーチをすることになりました。小山さんは、「ドローンによる配達」について発表しています。次は、小山さんの【スピーチ】です。

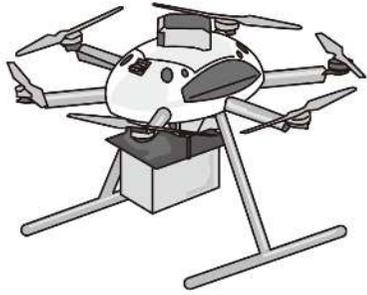
【スピーチ】

みなさんは、ドローンによる配達についてご存じでしょうか。「ドローン」という小型の飛行ロボットに荷物を積んで運ぶ方法です。

日本の配達サービスの取り扱い件数は、年々増加しています。さらに大口配送より小口配送が増えています。小口配送は、みなさんの家に届く宅配便のようなもので、トラックの中には、それぞれ別の宛先に届ける荷物が積まれています。大口配送は、トラック一台分の荷物が、そのまま店舗や施設など同じ宛先に届けられる配送です。そのため、小口配送の方が配達に時間がかかり、需要に対して配達側の人員や時間が足りないことが問題になっています。

そこで新しい配達方法として候補に挙がったのが、ドローンによる配達です。ドローンは車や人が通れないところも、飛行して通ることができるので、交通の混雑などの影響も受けずに荷物を届けることができます。現在、ゴルフ場を利用した、ドローンによる配達の実験も行われています。また、道が倒木や陥没で通れないところに物資を届けることもドローンによって可能になります。

ドローンによる配達は、さまざまな利点がありますが、課題もたくさんあります。しかし、その課題を解決すれば、いつか、空に荷物を積んだドローンが行き交う時代が訪れるかもしれません。



配達用のドローン

佐野さんたちは、小山さんのスピーチを聞いて、ドローンによる配達（配達）の課題について話し合っています。次の【佐野さんたちの会話】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【佐野さんたちの会話】

佐野さん … 小山さんのドローンの配達は実現すると、利点が多いと感じましたが、具体的にどのような課題があると思いますか。

玉川さん … ドローンは、小型で飛行するので天候に影響される可能性が高いと思います。

渡辺さん … 私も玉川さんと同じ意見です。風などでドローンの機体が飛ばされてしまうと、行方が分からなくなりそうですね。

野原さん … ドローンの位置がコンピュータの地図上で分かるように設定をすれば、機体を見つけることができます。

佐野さん … 野原さんの言うように、あらかじめトラブルを予想した設定を決めておくことが大切ですね。

【佐野さんたちの会話】 中での野原さんの役割についての説明として最も適切なものを、次の1～4の中から一つ選びなさい。 **レベル8**

- 1 野原さんは、佐野さんの発言を受けて課題を提案し話し合いを深めている。
- 2 野原さんは、渡辺さんの発言を元に課題に対する解決策を提示している。
- 3 野原さんは、課題に対する意見を伝えて玉川さんの意見に質問をしている。
- 4 野原さんは、話題について自分の考えを織り交ぜながら結論をまとめている。

